

秋田魁新報 2021年10月17日付 秋田市

秋田商高のアキショップ
企業と開発の商品人気
 生徒が秋田駅前で販売



商品の販売を担当した生徒。元気な声で接客をしていた

秋田市の秋田商業高校（瀬澤徳彦校長）の生徒が県内企業と開発した商品の販売などを行う「AKISHOP（アキショップ）」が16日、JR秋田駅ほぼろど大屋根下や秋田市民市場などで開かれ

た。2、3年生約430人が参加。売り場を担当する生徒は感染症対策のためマスク、フェースガードを着け接客した。大勢の客が訪れ、売り切れる商品もあった。

生徒らは商品の販売を行う開発班や、会場で行う催しを企画するイベント班などに分かれ、4月から話し合いを重ねた。3年生の石井颯大さん（18）は、市内にある会社の菓子類の受託販売を担当し、地域への貢献を目的とするなら受託販売がいいのではないかと話し合いで決まった。企業とのやりとりはもちろん、実際に販売する経験もできて良かったと話した。アキショップは生徒にビジネススキルを養ってもらうと毎年開催しており、今年で20回目。

（久保市隆）

©秋田魁新報社